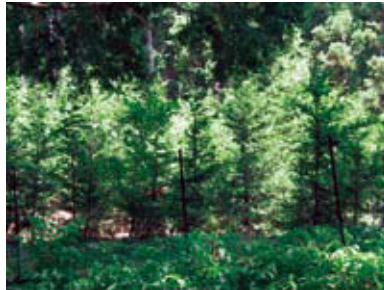


■人工林を元気にするために■

その場所の持ちょうにあわせた森林整備を進めます。



したくさがたくさん育つ元気な人工林。



ヒノキの若木や下草がシカに食べられないように、柵で囲っています。



ボランティアの人たちがスギ林の手入れをしています。

丹沢産の木材の活用を進め、多くの人に木の良さを知ってもらい、使ってもらいます。



いっこだてじゆうたく 一戸建住宅



家具（椅子とテーブル）



はだのし たんざわ けんしゅう 秦野市表丹沢屋外活動研修センター

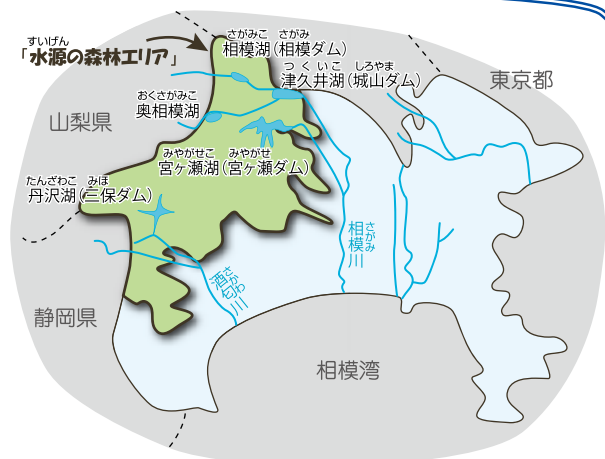
！ すいげん 水源の森林づくり

かながわ 神奈川県では、森林整備のひとつとして、「水源の森林づくり」を行っています。

これは、「水源の森林エリア」内に森林をもっている人が、森林の手入れをするときに県がその費用の一部を補助したり、水源の森林をもっている人から県が森林を預かったり、買い取ったりして、手入れを行うしくみです。

また、森林づくりのボランティア活動（枝打ち、かんぼう、したくさか 下草刈りなどの作業）の募集や水源の森林づくりの募金・寄付などの活動も行っています。

水源の森林づくりは、城山ダム、宮ヶ瀬ダム、三保ダムの上流を中心とした約 62km² を対象としています。そのうち私有林は約 41km² で、さらにその約 2/3 について県が協力して整備を行っています。



ボランティア活動のようす